

令和２年度第１回青梅市障害者地域自立支援協議会会議録

開催日時 令和２年７月３０日（木）午後５時４５分～午後７時４５分

場 所 青梅市役所２階２０４・２０５会議室

出席委員 宮崎会長、加藤副会長、渡邊委員、大栗委員、古久保委員、葛西委員、石井委員、松村委員、大沼委員、朝長委員、恩田委員、星野委員、市川委員、及川委員、厚澤委員、山崎（克）委員、遠藤委員、岡本委員、白井委員

議 事

- １ 開会
- ２ 委嘱状交付
- ３ あいさつ
- ４ 委員自己紹介および事務局紹介
- ５ 自立支援協議会の役割について
- ６ 会長および副会長の選任
- ７ 協議事項
- ８ 報告事項
- ９ その他

資料一覧

令和２年度青梅市地域自立支援協議会委員名簿（資料１）

青梅市障害者地域自立支援協議会設置要綱（資料２）

青梅市障害者地域自立支援協議会の部会編成について（資料３－１、３－２）

青梅市公共交通協議会委員の就任について（資料４）

第５期障害福祉計画実施状況（資料５－１）

第５期障害福祉計画の実績について（資料５－２）

第６期障害福祉計画・第２期障害児福祉計画策定行程表（案）（資料６）

青梅市障害者差別解消条例の策定について（資料７）

令和元年度市内における虐待通報等の状況（資料８－１）

令和２年度市内における虐待通報等の状況（資料８－２）

令和２年度青梅市障害者地域自立支援協議会日程表（案）（資料９）

青梅市障害者地域自立支援協議会会議傍聴等取扱要領

1 開会

2 委嘱状交付

3 あいさつ

浜中市長あいさつ

4 委員自己紹介および事務局紹介 (資料 1)

5 自立支援協議会の役割について (資料 2)

資料 2 により事務局より説明

6 会長および副会長の選任

会長 宮崎委員、副会長 加藤委員に決定

7 協議事項 (会長進行)

(1) 専門部会の構成について (資料 3)

資料 3-1 により、専門部会の構成と活動内容について説明。

資料 3-2 により、新委員の部会所属を決定。

(2) 青梅市公共交通協議会委員の選出について (資料 4)

大栗委員に決定。

(3) 障害福祉計画・障害児福祉計画について

ア 第 5 期障害福祉計画・第 1 期障害児福祉計画の進捗状況について

(資料 5)

資料 5 - 1 について、第 5 期障害福祉計画および第 1 期障害児福祉計画の成果目標に対する達成状況について説明。

資料 5 - 2 について、障害福祉サービスの見込み量に対する実績について説明。

(主な質疑、意見等)

- ・新規開設が進んでいるグループホームでは、青梅市の人が入れる青梅市枠等を検討しているのか。

→新規開設の相談の際は、出来るだけ重度の方を受け入れていただきたい、青梅市の方を入れていただきたいという話をさせていただいている。

- ・就労移行支援事業の就労移行率の実績が 0 であるが、この実績を上げていくためには、ここの事業所の努力に期待しているのか、市の施策でプロジェクトなどを立ち上げて実績を伸ばしていくのか。

→3 割の就労移行者数という条件で算出すると 0 事業所という数字になってしまうが、今後も対策をしていく必要はあると考える。

- ・コロナ禍の中で、移動支援など利用者が減少している状況があるか。

→コロナの影響は令和元年度の 3 月頃から出始めていたが、実際に数字として現れるのは今年度 4 月からとなっている。4 月に大幅に減ったのは短期入所であった。外出できないことに対して、在宅で支援をした場合も、柔軟に報酬を請求してよいという通知も来ている。今後、依頼が減った部分については、国の二次補正の包括支援事業等で補填される部分もある。

- ・都外施設入所者の地域移行について、なかなか進まないという現状であるが、取り組むのであれば、是非市で何らかの工夫が必要であると思う。

→東京都事業で、ブロックを 10 に分け、地域移行促進コーディネート事業を実施しており、青梅学園で受託し、市内施設等を担当し地域移行できるか等調査、検討をしている。

イ 第 6 期障害福祉計画・第 2 期障害児福祉計画の策定について

(資料 6)

今年度策定予定の第 6 期障害福祉計画・第 2 期障害児福祉計画について、協議会の意見を伺い素案を作成し、11 月にパブリックコメントを経て協議会に報告、最終決定を 2 月、3 月に計画書配布のスケジュールとしている。

8 報告事項

(1) 青梅市障害者差別解消条例の策定について

(資料 7)

資料 7 により、青梅市の障害者差別解消条例の策定について、これまでの経緯、今後の予定について説明。自立支援協議会の意見を伺いながら、素案の作成、パブリックコメントを経て 3 月議会に上程予定。今後、差別解消・権利擁護部会に外部委員を招き検討を進める。

(主な質疑、意見等)

- ・ 条例案は、自立支援協議会で作成するのか。
→ 障がい者福祉課で素案を作成し、部会や協議会の意見を伺いながら策定する。
- ・ 障害者差別解消支援地域協議会などが地域に作られる事例が多いかと思うが、そこで条例を作るのか、または、条例を作った後に作るのか、近隣の市町村では自立支援協議会と並行で作られ、そこで条例を作っていくというようなことであったと思うが、青梅市ではどうなっているのか。
→ 現段階では決定していないが、自立支援協議会にその機能を位置付けさせていただこうと考えている。
- ・ 市独自の条例で、参考にする他の市はいくつかあるのか。
→ 都内では、八王子市、国立市、立川市、小金井市、日野市、今年 7 月に多摩市で施行となっている。全国では、明石市が有名である。青梅市としても市民に対し差別解消の啓発のために策定していく。
- ・ 市で素案を作り、差別解消・権利擁護部会で関わっていくといくことでよろしいか。ここで、新任の委員さんも多く、当事者の方の意見をぜひ盛り込んでいただきたい。
→ 8 月からの素案作成に際して、都の差別解消条例に関わった方を外部委員として招き、部会を重ねて御意見をいただいきたい。

(2) 市内における虐待通報等の状況および対応について

(資料 8)

4 月～ 3 月 通報 16 件

うち虐待認定件数 2 件、否認定 13 件、調査中 1 件

(主な質疑、意見等)

- ・ 今年度に 2 件、同じ施設での虐待通報があったとのことであるが、

市としてどのような指導をしたのか。

→日中活動の施設の職員が利用者に対し暴言を吐かれた。施設の職員、家族からの聞き取りをし、心理的虐待として認定した。施設からは、改善報告書の提出を求め、東京都に提出をした。

(3) 専門部会からの報告

・日中活動・就労支援部会

9月14日に、「第1回企業向け障がい者理解推進見学会」を羽村特別支援学校で実施予定。人数を制限する、企業の方や、卒業生に学校に来ていただく等の感染症対策を講じるが、今後の新型コロナウイルス感染症の状況により延期や中止の可能性はある。

放課後等デイサービス連絡協議会については、去年の会議で、希望の事業が挙げられているので、実施に向けて検討していく。

・相談支援部会

昨年度は、相談支援事業所の事例検討会、気軽に音楽を聴き、自由に出入りができる「ごちゃふわコンサート」を実施。部会長が決定後、活動内容を検討、実施していく。

・差別解消・権利擁護部会

昨年度は、差別解消条例について様々な検討をしてきた。部会員が入れ替えになったため、今後部会長が招集し、条例に向けての検討を進めていきたい。

(4) その他

・東京都自立支援協議会交流会について

例年9月頃、茗荷谷で開催される交流会について、通知が来たら各委員にメール等で参加希望を伺う。

・国の臨時交付金を受け、市では各種コロナ対策新規事業を行う。

① 新型コロナウイルス障害福祉サービス事業所感染症対策事業費補助金

② 75歳以上のみ世帯、障害者、妊産婦向け新型コロナウイルス感染症対策買物代行サービス事業

・会議録の作成および公開について

事務局で会議録案を作成し、委員にメール等で送付し確認いただき、市ホームページで公開する。

9 その他

(1) 委員会の開催日程について

(資料 9)

第 2 回青梅市障害者地域自立支援協議会

令和 2 年 9 月 2 9 日 (火) 午後 2 時～午後 4 時

青梅市役所 2 階 2 0 4 ・ 2 0 5 会議室

以 上